
1. 業務概要.....	1-1
1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務委託概要.....	1-1
1.3 業務内容.....	1-1
1.4 位置図.....	1-2
1.5 実施方針.....	1-3
1.5.1 計画準備.....	1-4
1.5.2 将来交通量の推計.....	1-4
1.5.3 整備効果の整理.....	1-4
1.5.4 最新の交通状況の整理.....	1-5
1.5.5 報告書作成.....	1-5

1. 業務概要

1.1 業務目的

本業務は、将来交通需要推計手法の最新知見を踏まえ、「費用便益分析マニュアル」に則して東京外かく環状道路（関越～東名）の整備による将来交通量を推計するとともに、その整備効果を整理し、その結果等を分かりやすく説明する資料の作成を行うものである。

1.2 業務委託概要

本業務の業務名、業務履行範囲、業務履行期間、発注者、受注者を下表に示す。

表 1.2-1 業務委託概要

業務名	H27外環交通分析検討業務
履行範囲	東京外かく環状道路（関越～東名）周辺地域
履行期間	平成27年5月16日から平成28年9月30日まで
発注者	国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
受注者	パシフィックコンサルタンツ株式会社

1.3 業務内容

本業務における設計業務内容は以下のとおりである。

表 1.3-1 業務内容

項目	数量	備考
計画準備	1式	
将来交通量の推計	1式	
整備効果の整理	1式	
説明資料作成	1式	
最新の交通状況の整理	1式	
報告書作成	1式	
打合せ協議	7回	

1.4 位置図

本業務履行範囲（東京外かく環状道路（関越～東名）周辺地域）の位置図以下に示す。



図 1.4-1 本業務履行範囲位置図

1.5 実施方針

本業務の検討フローを以下に示す。

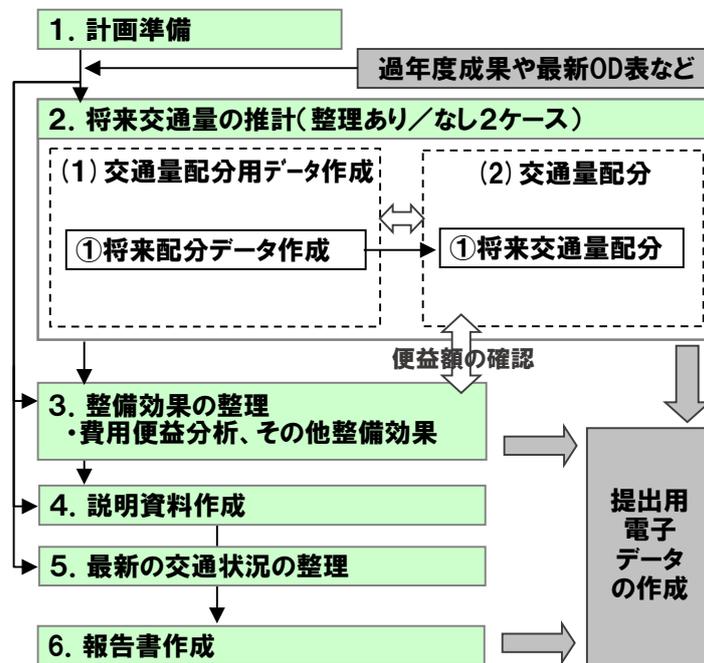


図 1.5-1 本業務検討フロー

1.5.1 計画準備

本業務の目的・主旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、調査職員に提出する。

1.5.2 将来交通量の推計

最新の道路交通センサスに基づいて交通量配分用データを作成し、東京外かく環状道路（関越～東名）が整備される場合とされない場合の交通量配分を実施する。

なお、推計に係るデータはその条件等も含め電子データで提出するものとする。

1) 交通量配分用データの作成

(1) 将来配分データの作成

関東地方整備局作成の最新の道路交通センサスに基づく将来OD表（平成42年）及び将来道路計画を基に、本業務における配分用の将来OD表（平成42年）、将来道路網（平成42年）を作成する。

2) 交通量配分

(1) 将来交通量配分

作成した将来道路網及び将来OD表を用いて、分割・転換率併用配分法により将来交通需要（平成42年）を推計する。検討ケースは東京外かく環状道路（関越～東名）の整備ありと整備なしの2ケースとする。

1.5.3 整備効果の整理

2)の将来交通量の推計結果に基づき、東京外かく環状道路（関越～東名）の整備ありと整備なしの両ケースの配分結果等を用いて費用便益分析を行う。また、その他の整備効果についても、最新のデータや知見に基づいて整理を行う。なお、整備効果に係るデータはその条件等も含め電子データで提出するものとする。

1.5.4 最新の交通状況の整理

首都圏高速道路に新料金が導入された平成28年4月以降の道路交通状況について、新料金導入前後のデータを用いて変化等を整理する。

1.5.5 報告書作成

本業務の報告書を作成するものとする。